

第8回「川の自然再生セミナー」開催報告

企画グループ グループ長 柏木 才助
沼田彩友美

1. はじめに

平成22年12月10日(金)に第8回「川の自然再生セミナー」を開催いたしました。

安全で自然豊かな川を取り戻したいとの地域からのニーズが高まっている中、各地の河川で自然再生や環境に配慮した河川整備が実施されています。これらの取り組みには、川とその自然・生態系、歴史文化にかかわる知恵や知識が重要であり、個々の状況に応じて試行錯誤しながら実施されている状況です。

「川の自然再生セミナー」は、様々な立場で河川の自然再生、多自然川づくりなどの実務に携わる方々の情報・意識共有、知識の向上、実践技術の取得を目的とし、平成15年より開催しています。

2. 開催概要

今回の第8回「川の自然再生セミナー」では、国土交通省後援のもと、『プランと実施をスムーズにつなぐ』をテーマとして、学識者、河川管理者の方々から各河川における取り組みの事例をご講演いただくとともに、2010年8月に国土交通省河川局から通知された「中小河川における河道計画の技術基準について」を踏まえた多自然川づくりの考え方を解説いたしました。

【プログラム】

- 講演1 河川環境行政の最新動向について
国土交通省 河川局 河川環境課
企画専門官 吉田 邦伸 氏
- 講演2 砂州掘削による洪水攪乱の誘発と樹林化抑制、礫床回復の試み—渡良瀬川の事例から—
群馬大学大学院工学研究科
社会環境デザイン工学専攻
教授 清水 義彦 氏
- 講演3 釧路川茅沼地区旧川復元（釧路川湿原自然再生事業）
国土交通省 北海道開発局 釧路河川事務所
所長 阿部 修也 氏
調整係長 大西 正容 氏
- 講演4 元町川における多自然川づくりの取組
岩手県 県土整備部 河川課
主任主査 沖野 智章 氏
- 講演5 多自然川づくり実践のための技術—多自然川づくりポイントブック発刊に向けて—
(財)リバーフロント整備センター
主席研究員 内藤 正彦 氏

3. 講演要旨

講演1では、河川環境行政の最新動向として、全国的な川の自然環境についてご説明いただき、多自然川づくり・自然再生事業など、今後の日本の河川環境事業（特に自然環境を対象としたもの）に求められる考え方を紹介いただきました。

講演2では、利根川水系渡良瀬川の礫床区間における樹林化の状況と上流からの低水路の流れを砂州内部に引き込む砂州の部分掘削（掘削路）を用いた樹林化対策、礫床再生の取り組みについてご講演いただきました。

講演3では、釧路湿原自然再生事業における茅沼地区旧川復元について、計画から実施概要や復元で期待できる効果、また計画及び実施の際の苦労などをご紹介いただきました。旧川への切替後は、次第に湿原植生が繁茂し、生物も確認されているそうです。

講演4では、試行錯誤しながら取り組んだ岩手県における多自然川づくりを事例とともにご紹介いただきました。過去の経験をもとに多くの事項に配慮された元町川の事例では、基本方針や施工の工夫を詳しく説明していただきました。

講演5では、多自然川づくりの最新の技術や理解すべき合理的な河川整備の考え方について説明するとともに、作成中の技術資料「多自然川づくりポイントブック」に関わる動向を紹介いたしました。



セミナーの様子

4. おわりに

本セミナーでは、多数の方に参加いただき、活発な意見交換が行われました。ご講演いただきました講師の方々にご参加いただいた皆様へ厚くお礼申し上げます。

なお、講演資料は、当センターのホームページに掲載しておりますので、ご活用ください。
(<http://www.rfc.or.jp/>)